豊橋まちなか見学会

主催　（公社）愛知建築士会 女性委員会

水上ビル・まちなか図書館等

人蔘湯

11 月 22 日（火）10:00～15:30

豊橋駅東口　穂の国とよはしPLAT 芸術劇場　研修室（大）集合

豊橋まちなかで商店街を通じたまちづくりに携わっておられる黒野有一郎氏からお話を伺い、実際にまちあるきをします。

穂の国とよはしPLAT 芸術劇場 ～ 人蔘湯 ～ 水上ビル ～ emCAMPUS まちなか図書館

参加費：会員　1,500 円

会員（専攻建築士）　1,300 円

非会員　2,000 円

非会員（専攻建築士）1,800 円

学生　500 円

CPD：4 単位（申請中）

募集：23 名

申込み：10/1～11/15

下記ＱＲコードまたは

https://peatix.com/event/3329980

詳細・申込み(Peatix)

〈スケジュール〉

9:30　受付　穂の国とよはしPLAT 芸術劇場研修室(大)

10：00　講演　講師：黒野有一郎氏（建築士会豊橋支部）

「豊橋まちなかと水上ビル商店街」

11：00　穂の国とよはしPLAT 芸術劇場見学

〈各自昼食〉

13：00　再集合　集合場所：emCAMPUS　徒歩移動

人蔘湯見学

水上ビル見学

emCAMPUS まちなか図書館見学

15：30　解散

まちなか図書館

emCAMPUS と水上ビル
（大豊ビル）

水上ビル（大豊ビル）

問い合わせ：公益社団法人愛知建築士会事務局

052-201-2201（代表）

女性委員会 e-mail　afa201009@gmail.com

女性委員 HP

講師紹介　黒野有一郎（くろのゆういちろう）氏

1967 年　豊橋市生まれ。
水上ビル育ち。
武蔵野美術大学造形学部
建築学科卒業。
1993 年より野沢正光建築工房。「いわむらかずお絵本の丘美術館」「長池ネイチャーセンター」などを担当。
2003 年　同事務所を退所し豊橋へ帰郷。
2004 年　水上ビルに
一級建築士事務所　建築クロノを設立。
2014 年より豊橋技術科学大学
建築・都市システム学系非常勤講師。
現在　水上ビルの大豊商店街理事長を務めるほか
自治体・行政と連携した「アートによる
まちづくり」を展開。

穂の国とよはし PLAT 芸術劇場

東三河の演劇・舞踊・音楽等の芸術文化の拠点。
市民の交流と創造活動のための、芸術文化交流施設。2013 年に開館。
主ホールは客席数 778 席。舞台芸術の創造と上演に対して良質な環境を実現し、出演者の熱気や緊張感、生の台詞が客席に自然に伝わることに配慮した親密感のある劇場。
アートスペースは客席数 266 席。ブラックボックス形式の空間に、平土間から擬似的なプロセニアム形式まで、必要に応じて客席と舞台の設定が可能。舞台芸術から音楽芸術、講演会など幅広い文化活動が可能な小劇場空間。
その他、演劇、ダンス、音楽の練習や発表などが可能な創造活動室や展示や会議が可能な研修室などがあり、市民の皆様が交流・活動する文化の“プラット”ホームとして幅広く活用されている。

人蔘湯

1950 年頃より営業。
お客さん同士が仲良くゆっくりくつろげる場として長く愛された。
2020 年ボイラー故障を機に臨時休業からの廃業。
「ゆとなみ社」が継業し 2021 年 4 月に復活。昭和の香りが漂うレトロなデザインを活かしながら、トレンドに合わせて改装。 番台形式から男女共用ロビーの受付カウンターへ変更。元からあったスチームサウナに加えて男湯にはドライサウナを新設し、サウナーにも人気の銭湯となる。女湯にはととのいベンチを新設。
内装工事には黒野氏も協力参加した。

水上ビル

豊橋駅から東方面に向かって、「豊橋ビル」「大豊ビル」「大手ビル」3 つのビル群で構成されている。
1964 年「大豊ビル」1965 年「豊橋ビル」1967 年「大手ビル」が建設され、「水上ビル」と総称される。暗渠に建つ特殊なビルで、下には豊川左岸の農地を潤す「牟呂用水」が流れている。
戦後の豊橋駅前では、青空市場から木造の雑居マーケットが造られ「大きな豊橋をめざして」との願いを込めて「大豊商店街」と命名されたが、復興が進み市街地の再開発により立ち退きとなる。
豊橋駅前という好立地において、農閑期には水枯れになり、美観上の問題がある水路の上に新たな土地を生み出すというアイデア。店主が資金を出し合い、1 階を店舗、2～3 階を住居として、それぞれがビルを縦割りで所有する「大豊ビル」9 棟が完成。現在では当時からの老舗に加え、人と人を繋ぐ商店街の取り組みもあり、懐かしい雰囲気の建物の魅力にひかれた新店のオープンも増えている。

emCAMPUS

建物（東棟）は　地上 24 階、地下 2 階で、水上ビルに面した南側には低層棟や多目的広場を整備。
低層階の 1 階は地元の食がテーマで、食堂や食材販売をする市場、公共キッチンを用意。2～3 階は「豊橋市まちなか図書館」。4～5 階のオフィスフロアは行政サービスや貸し会議室のほかに、学生、ベンチャー、スタートアップ企業を育成支援する機能も備える。6～24 階は１２８戸の分譲マンション。低層棟の屋上には東三河の農業の魅力を発信する農園を作り、地域農家が農産物を栽培する。
再開発プロジェクトとして旧名豊ビルなどの跡地に東西 2 棟を建設。2016 年に組合を設立。東棟は 2021 年にオープン。西棟は地上 20 階、地下 1 階で、2024 年度の完成を目指す。
東棟と西棟の間には市が中心となり「まちなか広場」も整備。屋根で覆われ人が集まり音楽やスポーツイベントにも対応する多目的空間、自然の丘を想像させる起伏を設けたみどりの空間を備える。

豊橋市まちなか図書館

BGM が流れる中、コーヒーを飲みながら読書にふける。趣味の本を開いてあれこれ仲間と会話する。待ち合わせの合間に中央ステップで上映中の映画を観る・・・。まちなか図書館はこれらすべてが実現できる。カウンター席やボックス席など、様々なタイプの座席が配置され、オープンスペースではその場で気軽に参加できるイベントが週末を中心に開催。誰もが気軽に立ち寄りたくなり、自分のスタイルで滞在を楽しむことを目指した図書館。

出典および画像提供：各公式ウェブサイト等より（抜粋）